

平成29年度 福井大学 FD・SD シンポジウム

学生の学びを支援する
教育システムの構築をめざして

平成29年 12月 1 日 金

15:00～17:00 (受付 14:30～)

会場 文京キャンパス 教育系 1 号館 大 2 講義室
松岡キャンパス 第 1 中講義室
敦賀キャンパス 第 1 講義室

■ 開催挨拶 [15:00～15:10]

中田 隆二 福井大学副学長



■ [15:10～16:40]

「学生と教師を繋ぎ、結ぶ、アクティブ・ラーニング 型授業のデザイン」

杉 森 公 一 先生

(金沢大学国際基幹教育院高等教育開発・支援部門 准教授)

◆ プログラム概要

アクティブ・ラーニングという言葉が日本の大学教育で積極的に使われ始めてから約 10 年になります(2008 年の学士力答申～)。これを単なる授業形態や教授技法としてではなく、“将来、見たい風景”を想像し、学生との繋がりや学習活動の在り方を再考する起点とすることが重要です。

本シンポジウムでは、化学者であることを基盤に自身の授業で様々な工夫に取り組んできた杉森先生を招き、みなさんと共にアクティブ・ラーニング型授業の効果を高めるための議論をしたいと思います。

■ [16:40～17:00]

質疑応答

■ 今回のシンポジウムでは、杉森先生による授業設計に関するミニ・ワークショップも行います。教員の方は、自身の授業実践を振り返ることのできる資料(シラバス等)をお待ち下さい。

司会 末本 哲雄 福井大学高等教育推進センター 特命講師

主催：福井大学高等教育推進センター